

完了後の評価個表

整理番号	7 - 1
------	-------

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	宮崎県
地域(地区)名	美郷町(旧南郷村)	事業実施主体	美郷町(旧南郷村)、 耳川広域森林組合等
関係市町村	美郷町(旧南郷村)	管理主体	美郷町、耳川広域森林組合等
事業実施期間	H15～H17(3年間)	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>位置等 当地区の美郷町南郷区(旧南郷村)は、宮崎県の北西山間部に位置し、九州山地の一部を形成している三方岳、清水岳、空野山など1,000mを越す山岳に囲まれ、中央部には小丸川が流れている。東は日向市東郷町(旧東郷町)、西は椎葉村、南は西都市・木城町、北は美郷町西郷区(旧西郷村)に接している。地域のほとんどが山林で占められており、宮崎県でも有数の林業地帯である。</p> <p>森林の状況 当地区の総面積は19,023haで森林面積は約94%に当たる17,831haで、そのうち民有林面積は16,815haであり、民有林における人工林の面積は11,961ha(人工林率71%)に達しているが、間伐等の森林整備が必要となる 齢級から 齢級のスギ・ヒノキの森林は4,021haで34%を占めている。 また、地区内の森林のうち5,935ha(民有林面積の35%)が水土保持林に区分されている。このため、水源かん養機能等の公益的機能を高度に発揮させるための森林整備の実施が期待されている。</p> <p>当地区を整備する目的 当地区においてはこれまでに約11,961haの人工林が造成され、森林蓄積は着実に増加しているものの、その多くは保育・間伐等が必要な段階にある。材価低迷等により森林所有者等の森林整備に対する意欲の低下が懸念される中で、森林の有する公益的機能の高度発揮に対する住民の期待が高まっているところである。 また、当地区には森林整備を効率的に実施するための根幹となる林道等の路網が十分に整備されていなかったことから、適切な森林施業の遅れが目立っていた。 このため、森林の公益的機能の高度発揮等を目的として、森林整備を実施するとともに、森林への到達時間の短縮、労働力や資機材の効率的な移送・運搬等により林業労働の軽減及び森林施業コストの低減を図ることを以て森林整備を促進することを目的に林道を整備したものである。</p> <p>(事業概要) 森林整備 植栽755ha、下刈2,038ha、除・間伐543ha 森林管理道整備 平城線 車道幅員 2.0m 開設延長 819m 利用区域面積 314ha 狭間線 車道幅員 3.0m 開設延長 747m 利用区域面積 75ha 檣越線 車道幅員 3.0m 開設延長 860m 利用区域面積 503ha 総事業費 1,903,514千円 (当初総事業費 2,594,221千円)</p>
----------	---

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成23年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。 なお、事業計画の変更により事業量が減になったほか、森林の公益的機能の高度発揮を図りつつ森林資源の循環利用を一層進める短伐期施業を推進していることから、事業採択時に比べて評価対象期間の短縮により総便益等が減少した。</p> <p>総便益(B) 13,285,947千円 (事業採択時 29,918,129千円) 総費用(C) 4,233,337千円 (事業採択時 5,932,970千円) 分析結果(B/C) 3.13 (事業採択時 5.04)</p>
-----------------------	--

事業効果の発現状況	<p>適時に適切な森林整備を必要とする林分約3,336haの除・間伐等が実施され、森林の公益的機能の維持増進が図られた。 また、林道整備により、施業地までの到達時間の短縮及び作業コストの低減が図られることから、利用区域内において搬出間伐の実施に向けた集約化の取組が進められているところである。</p>
-----------	--

<p>事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>本事業で整備された森林は、森林組合等により継続して保育・間伐等が実施されており、良好な管理状況にある。 林道は、美郷町が定めた林道管理規定に基づき適正に管理され、年数回の草刈りや側溝の清掃、路面の整正等が行われ良好な維持管理状況にある。</p>
<p>事業実施による環境の変化</p>	<p>森林整備により健全な状態の林分が造成・育成され、森林環境や景観の維持向上が図られている。 林道整備により、施業地までの到達時間の短縮により林業労働者の労働条件の改善が図られ、間伐が促進されるなど、森林所有者の森林施業に対する意欲が向上している。 林道整備による野生動植物の生息・生育環境の悪化、渓流水の流量の減少、土砂流出による濁水の発生などの影響は見受けられない。</p>
<p>社会経済情勢の変化</p>	<p>適切な森林施業が実施されたことから森林資源の維持増進が図られ、森林のもつ木材生産機能への期待が一層高まってきている。 林道の整備により、労働強度の軽減や作業コストの低減による林業生産性の向上が図られつつある。 また、森林組合が合併したことから、労働力の機動性が確立されたほか、木材等林産物の生産や輸送の効率性の向上が図られた。</p>
<p>今後の課題等</p>	<p>森林整備に対する地元住民の意欲が増進されたものの、木材価格の低迷等により未だ森林整備が十分とは言えない状況になっている。今後、林道や林業専用道、森林作業道等の路網整備や、意欲ある森林組合や林業事業者等が中心となって施業の集約化を図るとともに高性能林業機械の導入などにより、効率的かつ低コストな施業を推進し、林業生産性を向上させる必要がある。 また、事業により整備された施設については、引き続き適切な維持管理を行っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の意見： 本地区は、県内でも有数の林業地域であり、豊富な森林資源を活用するため骨格となる林道の整備を重点的に進めているが、一部が未開通であるため、林道の整備が急務となっている。（宮崎県） 林道等の整備に伴い、これまで手の行き届かなかった森林へのアクセスが可能となり、生産コストの低減及び林業労働力の軽減が図られ、生産環境が改善された。今後は、中心となる森林組合や林業事業者等を指導し集約化を図ることにより森林整備の推進に努めたい。 林道は、木材生産、森林整備の推進や連絡道としての利用だけでなく、眺望が美しい山々に癒やしを求める都市部の人々の利用が増えていることから一般車両の乗り入れも多いため、安全性や走行性の確保が求められている。（美郷町）
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 重点的な間伐等の森林整備の実施による水源かん養や山地保全等の公益的機能の高度発揮や、森林整備を効率的に行う基盤となる路網整備が求められていたことから、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 現場に応じた工種・工法が採用されるとともに、切土量の抑制等によりコストの縮減が図られ、総事業費の縮減に結びついていることから、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 必要とされていた間伐等の森林整備が行われ、水源かん養や山地保全等の公益的機能の維持増進が図られたこと、また、林道整備により森林へのアクセスが容易となり作業効率が向上したことから、森林整備や木材生産が今後も計画されており、一層の効果発現が見込まれることから、事業の有効性が認められる。

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 宮崎県

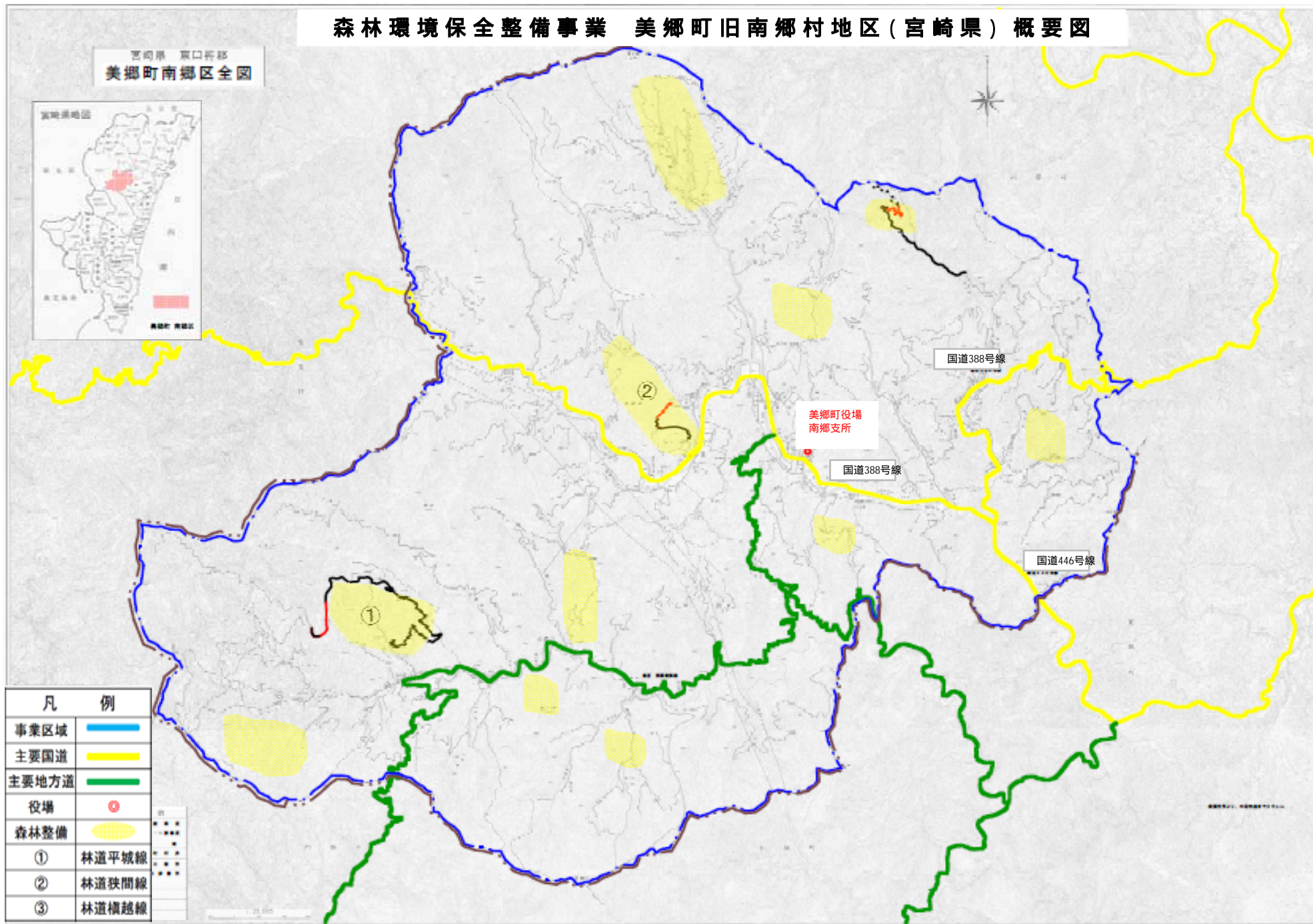
地域(地区)名: 美郷町(旧南郷村)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,131,172	
	流域貯水便益	1,696,632	
	水質浄化便益	2,889,045	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,661,496	
	土砂崩壊防止便益	8,990	
環境保全便益	炭素固定便益	1,073,407	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	12,525	
	木材利用増進便益	86,798	
	木材生産確保・増進便益	1,100,203	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	183,996	
	森林整備促進便益	441,683	
総 便 益 (B)		13,285,947	
総 費 用 (C)		4,233,337	
費用便益比	$B \div C = \frac{13,285,947}{4,233,337} = 3.13$		

森林環境保全整備事業 美郷町旧南郷村地区(宮崎県) 概要図

宮崎県 東臼杵郡
美郷町南郷区全図



凡 例	
事業区域	
主要国道	
主要地方道	
役場	
森林整備	
①	林道平城線
②	林道狭間線
③	林道横越線